

さあ、君達の出番だ！



商学部長

御船

ひろし 洋

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう。大多数のみなさんにとって、きょうは中央大学を卒業する日であるとともに、小学校以来の学校生活を終える日でもあります。そして、あと一週間もすれば、社会人です。

この四年間、楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、悲しかったことなど、いろいろな思い出ができたことでしょう。卒業式は別れの日でもあり、友人や先生との別れとともに、中央大学での思い出も遠いかなたに消えていきそうです。その心配はご無用です。中央大学で身に着けた学問、積んだ経験、得た友人は、みなさんの一生の宝になります。これからの人生のいろいろな局面で、必ずやみなさんを助けてくれることでしょう。

さて、豊かな社会の申し子であるみなさんが、空前の困難な時代に社

会に出て行つてうまくやっていけるのだろうかという危惧を抱く向きがあります。しかし、あらゆる価値観が相対化され、世の中に磐石のものなど何もない、という現実を目の当たりにしながら大きくなったみなさんは、いわば、怖いものなしで、少々のことには驚かず、意外にも「しぶとい」のではないかという見方も成り立ちます。私はこの見方に与します。

いまや、過去の成功経験は邪魔になりこそすれ何の役にも立たない時代に突入しています。前例がないことばかりが次々と起きる時代です。こういう時代の主役は誰なのか。これぞ、過去のしがらみから自由なみなさんの世代に他なりません。

どうか、大胆かつ柔軟な発想で新しい時代を切り拓いて行ってください。ご健闘をお祈りします。